

四季

のアルバム

都市機能の備わったまちでありながら、身近な自然ともふれあえる八幡西区。四季を通じてさまざまな表情に出会える、そんなまちの、香りたつような花と樹木のアルバムです。



則松 金山川のチューリップ



遠賀川の菜の花



春日神社の桜



曲里の松並木 (市指定史跡)

この松並木は当時幕府が全国の街道に松や杉を植樹させた名残で、日光の杉並木(日光街道)、安中の杉並木(中山道)、さらに箱根の杉並木(東海道)はその代表的なものです。

昭和20年頃まで黒崎から木屋瀬にかけて街道には多くの松を残していましたが、今はわずかにこの辺りが昔日の長崎街道の面影を留めているのみで、当時の松も残り2本となりました。

史跡の指定範囲は幅20~30メートル、長さ約310m、面積約8000平方メートルで、現在は旧街道緑地として整備されています。



畑野水池の桜



白木谷の梅林



皇后崎公園の桜



瀬板の森公園の紅葉



陣山のおじさい

則松 金山川の桜



河頭山の桜



木屋瀬の天神イチョウ



花尾山の桜



花尾城址のタイムカプセル

花尾城は、黒崎市街地の南東に位置する北九州を代表する山城で、鎌倉時代には遠賀一円からその勇姿を望み見ることができました。現在でも当時をしのばせる石垣や古井戸、本丸跡などの城址が残っており、また、城址へとつながる山道は登山コースとして多くの人々に親しまれています。

このような貴重な財産を後世に語り継ぐため、築城から800年にあたる1994(平成6)年には、市民の手により、花尾城に関する資料や生活用品がタイムカプセルに埋められました。カプセルが開くのはそれから100年後の2094年。その時、八幡西区はどのようなまちになっているのでしょうか。